



令和2年度  
西山小学校  
学校だより

杉

第7号  
令和2年5月25日(月)  
文責：猪野 典由

深い雪にも耐え 大空に向かって たくましまっすぐ伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

## 学校再開の喜びと心構え

本日より通常どおりの日程で学校が再開しました。一日をとおして学校に子どもたちの元気な声もどってきて、大変うれしく思います。5月上旬の連休明けから、登校日やオンラインミニ授業等で毎日子どもたちの元気な様子を確認することができていたことは、スムーズな学校再開につながりました。臨時休業中、保護者の皆様には、何かとご負担をおかけしました。ご協力ありがとうございました。

しかし、学校が再開できたとはいえ、新型コロナウイルス感染症への心配がなくなったわけではありません。感染予防の取り組みは、今後も新たな生活スタイルとなるような習慣化が必要です。「朝起きたら顔を洗うように検温をする」「行ってきますのあいさつとともにマスクをする」「外から帰ってきたら、まずは手洗い・うがい」といった行動を続けてほしいと思います。学校でも、「密にならない空間づくり」「共用部分の消毒」「こまめな換気」等を継続して行っています。



休業中の登校日、どの学級でもしっかり学習に取り組んでいました。すばらしい!!

## 今回の経験から感じたこと

### ① あたりまえだと思っていたことのありがたさ

学校の授業や行事、買い物やお出かけ、習い事や友達との遊び…当たり前と思っていたことができなくなりました。「あたりまえ」と思っていたことがどんなに大切なことなのか考えさせられました。

### ② 自分で計画を立てる・そして守る

学校では朝から帰りまで、時間割が決まっています。しかし臨時休業中は、どう過ごすのか自分で計画を立て、それを守るように自分で行動しなければなりません。このような経験は、これからいろいろなことに対して目標を立て、チャレンジしていく機会につながっていくと思います。

### ③ 人とつながることのすばらしさ

初めてオンラインでみんながつながった時のうれしそうな表情から、「離れていても一人ではない、みんながんばっているよ」というメッセージが伝わってきました。接続設定ありがとうございました。

子どもたち同士のかかわりを見ていると、お互い優しい気持ちで接している様子や進んで助け合おうとする様子がたくさんみられます。周りの人を思いやる気持ちが育っていることをうれしく思います。



## 消毒液をいただきました

今回の新型コロナウイルス感染症への対応については、各方面から様々なご支援をいただいています。マスクの寄贈や環境整備への協力等、子どもたちの安心・安全な生活につなげていきたいと思ひます。先日は、東北入谷まちづくり建設様より消毒液をいただきました。大切に使用させていただきます。



